

2 食品関係施設等の監視及び検査体制の充実

危害度の高い食品施設の監視の強化，許認可業務の効率化を図るとともに，食品問題の複雑多様化や新開発食品等新たな規制に応じた検査など食品の安全チェック体制の充実を図る。

(1) 食品衛生監視指導の充実（平成8年度開始 市単独 予算：3,631千円）

【事業の目的・内容】

飲食店等の施設の衛生を確保するため，関係法令に基づき営業施設の許認可を行うとともに，これらの施設の監視，指導を実施する。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
食品衛生法，栃木県食品衛生条例，食品安全条例	生活衛生課食品衛生グループ

《実 績》

施設数，許可件数，監視日数及び監視件数

年度	営業施設数	新規許可件数	監視日数	監視件数
平成20年度	16,040	1,629	208	7,066
平成21年度	15,773	1,513	189	7,038
平成22年度	15,154	1,427	173	7,014

食品安全ウォッチャーの活動状況

委 嘱 人 数 等	活 動 状 況
消費者50名（20歳以上の市民） 公募選考により委嘱，市長委嘱とし， 任期は2年	○研修会の開催（平成22年5月） （食品衛生法等の表示にかかる研修及び食品 検査施設に関する説明） ○活動状況（平成22年4月～23年3月分） ・表示調査報告数：6,569件 ・衛生状態等通報数：12件

(2) 食品収去の実施（平成8年度開始 市単独 予算：275千円）

【事業の目的・内容】

不良食品等の流通を防止し食品事故防止を図るため，食品等の規格基準検査や腸管出血性大腸菌等調査など収去検査により科学的なチェックを行い，基準遵守状況の確認，指導を行う。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
食品衛生法，乳及び乳製品の成分規格等に関する省令等 宇都宮市農畜水産食品残留有害物質検査実施要領	生活衛生課食品衛生グループ

《実 績》

収去検体数及び収去業務日数

年度	収去業務日数	収去検体数
平成20年度	43	1,025
平成21年度	46	1,029
平成22年度	49	1,036

(3) 食品衛生検査業務管理（平成10年度開始 市単独 予算：215千円）

【事業の目的・内容】

十分な検査精度と検査結果の信頼性を確保するために、食品衛生法に基づく検査業務を管理する。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
食品衛生法施行規則等	総務課地域医療グループ

《実 績》

実施業務（平成22年度）

外部精度管理（7項目）、各検査項目の標準作業書や検査施設の点検等